

ゆるる
とまる
まもる

年末・年始の交通事故防止県民運動

重点目標

1 信号機のない横断歩道における歩行者優先等の徹底

運転者は

- 横断歩道は歩行者最優先です。横断歩道を渡ろうとしている歩行者がいるときは、自動車は一時停止して、先に渡らせてあげましょう。
- 横断歩道に近づいたら、手前で止まれるように減速しましょう。
- 道路標識や予告標示(ダイヤマーク)に注目しましょう。

歩行者は

- 横断歩道が近くにあるところでは、必ず横断歩道を渡りましょう。
- 自動車にアイコンタクトを送る、手をあげるなど、自分の存在や、渡ろうとする気持ちをアピールしましょう。
- 道路を横断するときは、横断途中も左右の安全を確認しましょう。



2 高齢者の交通事故防止

●高齢者交通安全5則

- まつ (次の安全を待つ)
- みる (周囲の状況を見る)
- むりせず止まる (交差点などでは無理せず止まる)
- め立つ (夜光反射材を着用して目立つ)
- もっと知る (自分の身体機能の変化をもっと知る)

- 早朝や夕暮れ時、夜間の外出はできるだけ控え、外出するときは、夜光反射材やLEDライト、明るい目立つ色の衣服を身につけましょう。
- 自動車やオートバイを運転するときは、ハンドル操作や、安全確認を確実にいきましょう。
- 自転車は手軽ですが、ハンドル操作を誤るなどして大きな事故につながる可能性があります。用水路付近などの危険な場所では、降りて歩きましょう。



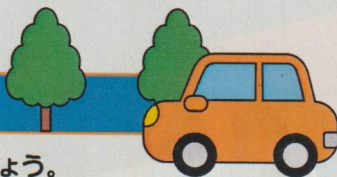
3 夕暮れ時・夜間等における交通事故防止

- 自転車や自動車は、午後4時からライトを付けましょう。
- 対向車や先行車がいなければ、自動車のライトはハイビームにして、状況に応じてこまめに切替えましょう。
- 歩行者や自転車は、夜光反射材やLEDライト、明るい目立つ色の衣服を身につけましょう。



4 スピードダウンの励行

- スピードは控えめに、ゆとりを持って運転しましょう。



ゆっくり
い ゆっくり

5 飲酒運転の根絶

●飲酒運転は

4(し)ない、3(さ)せない!
みんなで飲酒運転を防ぎましょう。

- 「ハンドルキーパー運動」を実践しましょう。
- 自転車も飲酒運転禁止です。



自転車も
飲酒運転
になるよ

4(し)ない

- ①酒を飲んだら運転しない。
- ②運転するなら酒は飲まない。
- ③酒を飲んだ人の車には同乗しない。
- ④使用者は、従業員に飲酒運転を命じたり、認めたりしない。

3(さ)せない

- ①酒を飲んだ人には、車を運転させない。
- ②酒を飲んだ人には、車を貸さない。
- ③運転する人には、酒はすすめない。